

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 1 During Spring Vacation

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形, 過去形, 未来のことを表す表現を正しく用いて表現することができる。 ・最近行った場所やよく行く場所, 行ってみたい場所について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い, 自分のことを伝え, 相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やりとり)	目標 <small>【知識】</small> 動詞の現在形・過去形・未来のことを表す表現の意味や働きについて理解している。(Task) <small>【技能】</small> ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 動詞の時制を適切に使いつけて, 伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 動詞の時制を適切に使いつけて, ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について, ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく, 自ら進んで伝え合おうとしている。
	B ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 動詞の時制を適切に使いつけて, コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば, ピクニックの予定や行ってみたい場所について, 動詞の時制を適切に使いつけて, 何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば, 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて, 相手にわかってもらえるように, ピクニックの予定や行ってみたい場所について何とか伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 動詞の現在形・過去形・未来のことを表す表現の意味や働きについて理解している。 <small>【技能】</small> 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 動詞の現在形・過去形を用いて, 書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標 ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 動詞の現在形・過去形を用いて, ほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 論理性に注意して詳しく書くことができる。	A ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について論理性に注意して詳しく, 自ら進んで書こうとしている。
	B 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 動詞の現在形・過去形を用いて, コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について書くことができる。	B ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について書こうとしている。
	C 助けがあれば, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について, 動詞の現在形・過去形を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば, ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について何とか書くことができる。	C 助けを借りて, ほかの人に伝えるために, 最近行った場所やよく行く場所, 飼いだとの思い出について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 2 My Favorite Star

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形, 過去完了形を正しく用いて表現することができる。 ・有名人や身近な尊敬する人物などについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い, 自分のことを伝え, 相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やりとり)	目標 <small>【知識】</small> 現在完了形や過去完了形の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) <small>【技能】</small> 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, 伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を適切に用いて, ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について, ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら, 論理性に注意し客観的に, 自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, 何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば, 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて, 相手にわかってもらえるように, 有名人やもっと知ってほしい人物について何とか伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 現在完了形や過去完了形の意味や働きについて理解している。(Task, Write) <small>【技能】</small> 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, 書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に書いている。(Write)	目標 ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に書こうとしている。(Write)
	A 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, ほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 論理性に注意し, 客観的に書くことができる。	A ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について論理性に注意し客観的に, 自ら進んで書こうとしている。
	B 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて, コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について書くことができる。	B ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について書こうとしている。
	C 助けがあれば, 有名人やもっと知ってほしい人物について, 現在完了形や過去完了形を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば, ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について何とか書くことができる。	C 助けを借りて, ほかの人に伝えるために, 有名人やもっと知ってほしい人物について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 3 My Career Path

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い, 自分のことを伝え, 相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと (やりとり)	目標	【知識】 助動詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて、助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞などを適切に用いて, ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら, 具体例を挙げて自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞などを用いて, コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば, 相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて, 相手にわかってもらえるように, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて何とか伝え合おうとしている。
話すこと (発表)	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 助動詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて、助動詞を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて書こうとしている。(Write)
	A	さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 具体例を挙げて自ら進んで書こうとしている。
	B	さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて書こうとしている。
	C	助けがあれば, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて, 助動詞を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば, ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて何とか書くことができる。	C	助けを借りて, ほかの人に伝えるために, さまざまな職業に求められる技能, その職業に就くためにできることなどについて何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 4 Talking about Japanese Culture

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・日本の文化や伝統について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 受動態の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 日本の文化や伝統について、受動態を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	日本の文化や伝統について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	日本の文化や伝統について、受動態などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、日本の文化や伝統について、受動態を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、日本の文化や伝統について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 受動態の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 日本の文化や伝統について、受動態を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A	日本の文化や伝統について、受動態を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	日本の文化や伝統について、受動態を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について書こうとしている。
	C	助けがあれば、日本の文化や伝統について、受動態を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、日本の文化や伝統について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 5 Disaster Prevention

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を正しく用いて表現することができる。 災害や災害対策について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 【知識】 不定詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 災害や災害対策について、不定詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 災害や災害対策について、不定詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 災害や災害対策について、不定詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば、災害や災害対策について、不定詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、災害や災害対策について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 【知識】 不定詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 災害や災害対策について、不定詞を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 留学生にわかるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標 留学生にわかるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A 災害や災害対策について、不定詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A 留学生にわかるように、災害や災害対策について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A 留学生にわかるように、災害や災害対策について論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B 災害や災害対策について、不定詞を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B 留学生にわかるように、災害や災害対策について書くことができる。	B 留学生にわかるように、災害や災害対策について書こうとしている。
	C 助けがあれば、災害や災害対策について、不定詞を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば、留学生にわかるように、災害や災害対策について何とか書くことができる。	C 助けを借りて、留学生にわかるように、災害や災害対策について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 6 Town Planning

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の構文を正しく用いて表現することができる。 都市計画や理想の街について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 不定詞の構文の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 都市計画や理想の街について、不定詞の構文を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	都市計画や理想の街について、不定詞の構文などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	都市計画や理想の街について、不定詞の構文などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、都市計画や理想の街について、不定詞の構文を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、都市計画や理想の街について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 不定詞の構文の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 市長への請願の手紙を、不定詞の構文を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A	市長への請願の手紙を、不定詞の構文を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	市長への請願の手紙を、不定詞の構文を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を書こうとしている。
	C	助けがあれば、市長への請願の手紙を、不定詞の構文を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、市長への請願の手紙を何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 7 Foods and Culture

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞を正しく用いて表現することができる。 ・食文化について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 動名詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 食文化について、動名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task)	目標	相手にわかってもらえるように、食文化について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task)	目標	相手にわかってもらえるように、食文化について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task)
	A	食文化について、動名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、食文化について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、食文化について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	食文化について、動名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、食文化について伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、食文化について伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、食文化について、動名詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、食文化について何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、食文化について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標					
	A					
	B					
	C					
書くこと	目標	【知識】 動名詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 食べるものの選び方について、動名詞を用いて書く技能を身につけている。(Task Write)	目標	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A	食べるものの選び方について、動名詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	食べるものの選び方について、動名詞を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について書こうとしている。
	C	助けがあれば、食べるものの選び方について、動名詞を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、食べるものの選び方について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 8 ICT and Universal Design

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 分詞を正しく用いて表現することができる。 ICTやユニバーサルデザインについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 分詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 ICTやユニバーサルデザインについて、分詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task Share)	目標	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Share)	目標	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Share)
	A	ICTやユニバーサルデザインについて、分詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	ICTやユニバーサルデザインについて、分詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、ICTやユニバーサルデザインについて、分詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、ICTやユニバーサルデザインについて何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 分詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 スマートフォンの新しい機能やアプリについて、分詞を用いて書く技能を身につけている。(Task Write)	目標	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	A	スマートフォンの新しい機能やアプリについて、分詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	スマートフォンの新しい機能やアプリについて、分詞を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて書こうとしている。
	C	助けがあれば、スマートフォンの新しい機能やアプリについて、分詞を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、スマートフォンの新しい機能やアプリについて何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 9 World Peace

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 ・世界平和に貢献した人々について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 <small>【知識】</small> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) <small>【技能】</small> 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば、世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標 <small>【知識】</small> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(Share) <small>【技能】</small> 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて伝える技能を身につけている。(Share)	目標 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。(Share)	目標 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく伝えようとしている。(Share)
	A 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝えることができる。	A 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく伝えることができる。	A 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝えようとしている。
	B 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝えることができる。	B 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について伝えることができる。	B 相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について伝えようとしている。
	C 助けがあれば、世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて何とか英語で伝えることができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について何とか伝えることができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、世界平和に貢献した人々について何とか伝えようとしている。
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(Task) <small>【技能】</small> 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標 ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B 世界平和に貢献した人々について、関係代名詞などを用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について書こうとしている。
	C 助けがあれば、世界平和に貢献した人々について、関係代名詞を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について何とか書くことができる。	C 助けを借りて、ほかの人に伝えるために、世界平和に貢献した人々について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 10 Volunteering Abroad

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・国際協力や海外ボランティアについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 関係副詞の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 国際協力や海外ボランティアについて、関係副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	国際協力や海外ボランティアについて、関係副詞を適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	国際協力や海外ボランティアについて、関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、国際協力や海外ボランティアについて、関係副詞を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、国際協力や海外ボランティアについて何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 関係副詞の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 海外ボランティアについて、関係副詞を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A	海外ボランティアについて、関係副詞を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	海外ボランティアについて、関係副詞を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて書こうとしている。
	C	助けがあれば、海外ボランティアについて、関係副詞を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、海外ボランティアについて何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 11 Health and Lifespan

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・比較の表現を正しく用いて表現することができる。 ・健康的な生活や医療について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 <small>【知識】</small> 比較の表現の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) <small>【技能】</small> 健康的な生活や医療について、比較の表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task Share)	目標 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 健康的な生活や医療について、比較の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 健康的な生活や医療について、比較の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば、健康的な生活や医療について、比較の表現を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、健康的な生活や医療について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 比較の表現の意味や働きについて理解している。(Task) <small>【技能】</small> 日本の健康と医療について、比較の表現を用いて書く技能を身につけている。(Task Write)	目標 ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標 ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A 日本の健康と医療について、比較の表現を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B 日本の健康と医療について、比較の表現を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について書こうとしている。
	C 助けがあれば、日本の健康と医療について、比較の表現を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について何とか書くことができる。	C 助けを借りて、ほかの人に伝えるために、日本の健康と医療について何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 12 If the World Were ...

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・自分とは異なる視点から世界の問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 <small>【知識】</small> 仮定法の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) <small>【技能】</small> 自分とは異なる視点から、世界の問題について、仮定法を用いて伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 自分とは異なる視点から、世界の問題について、仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 自分とは異なる視点から、世界の問題について、仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば、自分とは異なる視点から、世界の問題について、仮定法を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、自分とは異なる視点から、世界の問題について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 仮定法の意味や働きについて理解している。(Task) <small>【技能】</small> 現在とは異なる状況を想像して、仮定法を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	A 現在とは異なる状況を想像して、仮定法を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して、論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B 現在とは異なる状況を想像して、仮定法を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して書こうとしている。
	C 助けがあれば、現在とは異なる状況を想像して、仮定法を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して何とか書くことができる。	C 助けを借りて、ほかの人に伝えるために、現在とは異なる状況を想像して何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 13 Culture and Perception

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・否定・疑問の表現を正しく用いて表現することができる。 ・文化の違いや文化と認知の関係について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 【知識】 否定・疑問の表現の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 文化の違いや文化と認知の関係について、否定・疑問の表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A 文化の違いや文化と認知の関係について、否定・疑問の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 文化の違いや文化と認知の関係について、否定・疑問の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば、文化の違いや文化と認知の関係について、否定・疑問の表現を用いて、何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば、相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて、相手にわかってもらえるように、文化の違いや文化と認知の関係について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 【知識】 否定・疑問の表現の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、否定・疑問の表現を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標 ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、論理性に注意して詳しく書いている。(Write)	目標 ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Write)
	A 取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、否定・疑問の表現を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B 取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、否定・疑問の表現を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて書くことができる。	B ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて書こうとしている。
	C 助けがあれば、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて、否定・疑問の表現を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば、ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて何とか書くことができる。	C 助けを借りて、ほかの人に伝えるために、取り入れたいコミュニケーションスタイルについて何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 14 World News

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・時制の一致・語法を正しく用いて表現することができる。 ・さまざまなニュースについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
話すこと（やりとり）	目標	【知識】 時制の一致・語法の意味や働きについて理解している。(Start-Up, Task) 【技能】 さまざまなニュースについて、時制の一致・語法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて、論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。(Task, Share)	目標	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて、論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。(Task, Share)
	A	さまざまなニュースについて、時制の一致・語法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて、論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく、自ら進んで伝え合おうとしている。
	B	さまざまなニュースについて、時制の一致・語法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて伝え合うことができる。	B	相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて伝え合おうとしている。
	C	助けがあれば、さまざまなニュースについて、時制の一致・語法を用いて何とか英語で伝え合うことができる。	C	助けがあれば、相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて何とか伝え合うことができる。	C	助けを借りて、相手にわかってもらえるように、さまざまなニュースについて何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標		目標		目標	
	A		A		A	
	B		B		B	
	C		C		C	
書くこと	目標	【知識】 時制の一致・語法の意味や働きについて理解している。(Task) 【技能】 最近のニュースとそれに対する感想を、時制の一致・語法を用いて書く技能を身につけている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を、論理性に注意して詳しく書いている。(Task, Write)	目標	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を、論理性に注意して詳しく書こうとしている。(Task, Write)
	A	最近のニュースとそれに対する感想を、時制の一致・語法を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を、論理性に注意して詳しく書くことができる。	A	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を論理性に注意して詳しく、自ら進んで書こうとしている。
	B	最近のニュースとそれに対する感想を、時制の一致・語法を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を書くことができる。	B	ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を書こうとしている。
	C	助けがあれば、最近のニュースとそれに対する感想を、時制の一致・語法を用いて何とか書くことができる。	C	助けがあれば、ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を何とか書くことができる。	C	助けを借りて、ほかの人に伝えるために、最近のニュースとそれに対する感想を何とか書こうとしている。

Harmony English Logic and Expression II New Edition

LESSON 15 Be Yourself

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を正しく用いて表現することができる。 ・自分らしい生き方について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い，自分のことを伝え，相手のことを聞こうとすることができる。
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと（やりとり）	目標 <small>【知識】</small> 要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文の意味や働きについて理解している。（Start-Up, Task） <small>【技能】</small> 充実した生活について，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いて，伝え合う技能を身につけている。（Task, Share）	目標 相手にわかってもらえるように，充実した生活について，論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。（Task, Share）	目標 相手にわかってもらえるように，充実した生活について，論理性に注意して詳しく伝え合おうとしている。（Task, Share）
	A 充実した生活について，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように，充実した生活について，論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。	A 相手にわかってもらえるように，充実した生活について，ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら論理性に注意して詳しく，自ら進んで伝え合おうとしている。
	B 充実した生活について，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文などを用いて，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように，充実した生活について伝え合うことができる。	B 相手にわかってもらえるように，充実した生活について伝え合おうとしている。
	C 助けがあれば，充実した生活について，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いて，何とか英語で伝え合うことができる。	C 助けがあれば，相手にわかってもらえるように，充実した生活について何とか伝え合うことができる。	C 助けを借りて，相手にわかってもらえるように，充実した生活について何とか伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	目標	目標	目標
	A	A	A
	B	B	B
	C	C	C
書くこと	目標 <small>【知識】</small> 要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文の意味や働きについて理解している。（Task） <small>【技能】</small> 新入生へのメッセージについて，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いて書く技能を身につけている。（Task, Write）	目標 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて，論理性に注意して詳しく書いている。（Write）	目標 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて，論理性に注意して詳しく書こうとしている。（Write）
	A 新入生へのメッセージについて，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いてほぼ正しい英語で書くことができる。	A 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて，論理性に注意して詳しく書くことができる。	A 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて論理性に注意して詳しく，自ら進んで書こうとしている。
	B 新入生へのメッセージについて，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いてコミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	B 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて書くことができる。	B 新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて書こうとしている。
	C 助けがあれば，新入生へのメッセージについて，要求・提案の表現，無生物主語の構文，強調構文を用いて何とか書くことができる。	C 助けがあれば，新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて何とか書くことができる。	C 助けを借りて，新1年生たち伝えるために，新入生へのメッセージについて何とか書こうとしている。